

令和5年度 学校経営計画書

かほく市立高松中学校
校長 塚田 秀和

1 経営理念

伝統ある高松中学校に愛着と誇りを持ち、教職員が一丸となり、保護者・地域とも連携を図りながら信頼される高松中学校を築いていく。そのために次の3点を掲げる。

- ア 安心・安全で、美しく整備された魅力ある学校づくり
- イ 生徒・保護者・地域に貢献する魅力ある学校づくり
- ウ 教職員の満足度を高め、自慢したくなる魅力ある学校づくり

2 教育目標

「知性と創造力に富み、心身ともに健康でたくましい生徒の育成」

3 中・長期経営目標

(1) めざす学校像

- ①安心・安全な教育環境のもとで、生徒がいきいきと活動する学校
- ②21世紀を主体的に生き抜くための確かな学力の定着を図る学校
- ③保護者や地域に信頼され、地域に開かれた、地域と共にある学校

(2) めざす生徒像

- ①確かな学力を身に付け、一生懸命に取り組む生徒
- ②思いやりがあり、協力奉仕のできる心豊かな生徒
- ③命を大切にし、進んで体を鍛えるたくましい生徒
- ④集団の向上をめざし、規則を守る礼儀正しい生徒
- ⑤母校に愛着と誇りを持ち、地域に貢献する生徒

(3) めざす教師像

- ①強い使命感と教育に対する情熱を持ち、一人一人の生徒理解と成長に努める教師
- ②生徒・保護者・地域に信頼され、創造的で人間性豊かな教師
- ③チャレンジ精神と謙虚さを持ち、常に指導力向上に努める教師
- ④組織の一員としての役割と責任を果たし、積極的に学校運営に参画する教師
- ⑤教育公務員として自覚と責任を持ち、多様な価値観にも柔軟に対応できる教師
- ⑥効率的・効果的な働き方改革に努める教師

(4) めざす学校組織

- ①危機管理意識があり、チームとして行動できる組織
- ②報告・連絡・相談が機能し、情報が共有できる組織
- ③主体的・建設的・創造的に考えることができる組織

4 短期経営目標（今年度の重点目標） ★：かほく市の重点目標

「皆で高め合う学校」

～ 確かな学力をと豊かな心を持ち、心身ともに健康な生徒の育成 ～

○ 生徒が行きたくなる学校づくり

- ・学ぶ楽しさを実感する授業、達成感をもたせる行事・部活動
- ・一人一人の居場所があり、安心・安全に過ごすことができる環境

○ 保護者が子供を通わせたいと思う学校づくり

- ・保護者との信頼関係の構築、連携の強化による家庭教育の充実と生活習慣の確立
- ・組織的な対応によるいじめや不登校の未然防止と早期発見

○ 教職員にとって働きがいのある学校づくり

- ・それぞれが持ち味を発揮でき、互いに協力しあえる同僚意識に満ちた温かい職場環境
- ・1人1台端末の効果的な活用を図り、授業力の向上を目指す。
- ・業務の効率化、時間的平準化による働き方改革の推進

(1) 学力向上

★① 自分の考えを豊かに表現するための「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりの充実（カリキュラム・マネジメント）

ア 「予想 - 協働 - 振り返り・課題発見」の3ステップを意識した授業展開の共通実践

イ 授業後半の充実の取組の推進

ウ I C Tを活用した効果的な活用と個別最適な学びの推進（GIGA スクール構想の推進）

② 学力向上ロードマップや学力向上プランを基にした全職員による取組の推進

ア 学力調査結果の活用と弱点克服のための取組の推進

イ 学習規律の定着と家庭学習の習慣化に向けた取組の推進

ウ 読書活動及び読書習慣定着の推進

(2) 豊かな心の育成

① 自己肯定感の育成

ア 生徒会活動及び学校行事の充実と活性化

イ 「認める」「褒める」生徒指導の推進と自分の良いところを見出せるキャリア教育の充実

ウ 生徒を活かしたタイムリーな掲示の充実

★② 積極的・組織的な「支える生徒指導」の推進

ア 「いじめ」の未然防止及び早期発見と早期の適切な指導

イ 不登校（傾向）とならない「居場所づくり」「絆づくり」を重点にした学級経営の推進と「寄り添う指導の推進」（教育相談体制の充実と組織的な対応、生徒や保護者からの相談に対する迅速かつ丁寧な対応）

ウ 特別に支援を要する生徒への共通理解と、合理的配慮を意識した個に応じた支援の充実

③ 道徳教育の充実

ア 地域人材の活用及び考え議論する道徳授業の推進

(3) 健康教育の充実と体力向上

① 食育の推進

食の大切さを理解させる指導の充実

② 体力・運動能力の向上

ア 部活動等を通じた生徒の健全育成と学校の活性化

イ 体力テスト結果の有効活用と体力アップ1校1プランの充実

③ 適切なメディアの使い方の指導と啓発活動

ア メールやネット、ゲーム等の適切な使い方（依存防止）を図る指導の充実

(4) 円滑な学校運営と学校の活性化

★① 組織的な学校運営・校務分掌の確立

ア 取組の進捗状況の検証・評価・点検とその後の改善策の実行

イ 主任会での密な情報交換と共通理解に基づく組織的な取組の推進

ウ 若手ミドルリーダーの育成

② 学校評価を生かした学校運営

ア アンケート結果に基づく課題の明確化と改善策の立案・実践

③ 信頼される学校づくりのための連携強化

ア 小中連携による9年間を見通した教育の充実

イ 学校便りやHP等による広報活動の充実

④ コミュニティスクールを生かした魅力ある学校づくりの推進

ア 地域人材活用による学校教育の活性化

イ 保護者・地域との確かな信頼関係の構築

(5) 教職員の働き方改革の徹底

① 働く意義を考え、生徒・保護者・地域への貢献を基本とした働き方の改革を推進する。

★② 教職員の時間外勤務時間の削減に努める。

ア 時間外勤務時間調査を継続し、効率的効果的な働き方を意識した業務内容の見直しと健康管理意識の高揚を図る。

イ 組織的な校務改善の対策（部活動休養日、定時退校日、学校閉庁日等）

③ 改善への取組を保護者や地域に周知するとともに、理解と協力を求める。